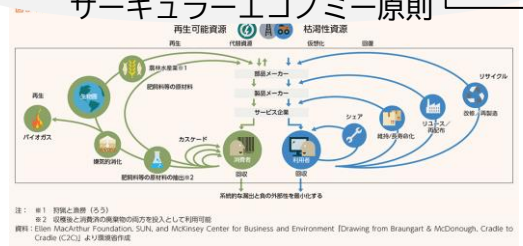
資料２

サーキュラー・エコノミーの実現に資する各分科会の位置づけ

エレンマッカーサー財団
サーキュラーエコノミー原則



製品や資源を
使い続ける

バイオマス資源

化石資源
鉱物資源

サーキュラーバイオシステム
分科会

農林水産物

材料・部品メーカー

リサイクル

（未定）資源循環DX分科会

生物圏

バイオケミカル原料

加工・製品メーカー

再製造/改修

001001000110011
10000110011
000100

自然のシステム
を再生する

バイオリファイナリ

サービス提供者

リユース/再配分

？？？

メタン発酵
肥料・飼料化
バイオマス発電

再利用
カスケードリサイクル

メンテナンス
修理/シェア

（未定）分散型再生エネ
地域システム分科会

亜臨界処理

エネルギー利用

リユースバッテリ・太陽光パネル

エネルギー回収

エネルギー貯蔵
（電力、水素）

太陽光発電
風力発電

堆肥化
メタン発酵

下水道
汚泥処理施設
し尿処理施設

（未定）リン・カリ循環
分科会

各種廃棄物（平時）

自然系災害廃棄物
人工系災害廃棄物

リン・カリ回収

広域資源循環システム
分科会

リサイクルポート

資源前処理保管技術
分科会

前処理

CCU

貯留

廃棄物・汚染等
を出さない設計

最終処分
環境へのリーケージ